保健・医療の情報コーナー

すこやかライフ

保健センター（〒564・0072出口町19・2☎6339・1212FAX6339・7075）
保健医療室（〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2225FAX6339・2058）
地域保健課（〒564・0072出口町19・3保健所内☎6339・2227FAX6339・2058）
国民健康保険課（☎6384・1239FAX6368・7347）
口腔ケアセンター（〒565・0862津雲台1・2・1☎6155・8020FAX6873・3030）

保健所のホームページ　保健センターのホームページ

各種健(検)診

加入している公的医療保険の種類に関係なく受診可。誕生月かその翌月の受診を推奨。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険課へ、市民税非課税・生活保護世帯は検診の2週間前までに保健センターへ申請すれば、いずれも無料。問保健センター。

健診	30歳代健診	血圧測定、尿検査、血液検査など。30～39歳。	無料
	成人歯科健診	口腔内検査、歯面清掃など。 30～74歳。障がいのある15～74歳の人は通年受診可。	
個別検診	胃がん検診 ※1	胃内視鏡検査 ※2。50歳以上で今年偶数年齢になる人。	2000円
	大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。	300円
	肺がん検診 ※3	X線検査。40歳以上。 問診の結果、必要な人のみ喀痰検査。50歳以上。別途500円。	400円
	子宮がん検診	頸部細胞診。20歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。 問診の結果、必要な人のみ体部細胞診。別途500円。	500円
	乳がん検診	マンモグラフィと視触診。40歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。	1000円
	前立腺がん検診	血液検査。50歳以上の男性。	700円
	結核検診 ※3	X線検査。65歳以上。	無料
	B・C型肝炎検診	血液検査。20歳以上で、B・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。	
	骨粗しょう症検診	骨量測定。20～70歳で年齢の下1桁目の数字が今年0か5になる人。	1000円
	聴力検診	6周波の聴力検査。今年50・55・60・65・70歳になる人。	500円

所申直接、協力医療機関へ。
協力医療機関は市報10月号と同時配布した「各種健診・検診ガイド」と保健センターホームページに掲載しています。

集団検診	胃がん検診 ※1	X線検査。50歳以上。1000円。 昨年胃内視鏡検査を受けていない人。	時(1)1月6日㈭、(2)1月17日㈪。いずれも午前9時～11時。 所保健センター。	申☐か、検診名、希望日、住所、名前、性別、生年月日、電話番号を郵送かファックスで保健センターへ。(1)は12月23日㈭、(2)は1月4日㈫必着。多数の場合は日程を振り替えることがあります。詳しい案内は検診日の約2週間前に送ります。
	大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。300円。		
	肺がん検診 ※3	X線検査。40歳以上。400円。 喀痰検査は実施していません。※4		

※1　どちらかを選んで受診してください。
※2　のど、鼻腔への局所麻酔以外の痛み止めや、鎮静薬は使用できません。
※3　65歳以上の人はいずれかを選んで受診してください。また、血痰のある人は検診の対象外です。速やかに医療機関を受診してください。
※4　50歳以上で、喫煙指数（1日の平均喫煙本数×喫煙継続年数）が600以上の人は、喀痰検査の対象となります。市内の協力医療機関で実施する肺がん検診を受診してください。

☐はこちら

▶新型コロナウイルス感染症の影響で掲載内容が中止・延期・変更になる場合があります
イベント等の開催の有無は市ホームページか各室課への問い合わせなどで確認してください

その他の検査・健診

HIV・性感染症検査　匿名可。診断書は発行しません。時12月3日㈮、17日㈮午前9時30分～11時30分。1人20分。結果説明は検査日の1週間後。所保健所。定各先着7人。申電話で地域保健課へ。

国保健康診査（特定健診）　身体測定、尿検査、血液検査など。対象者には、誕生月の前月末に受診票を送ります。誕生月かその翌月に受診できない場合や、今年4月2日以降の加入者は国民健康保険課へ問い合わせてください。対40～74歳の吹田市国民健康保険加入者。国保以外の保険の加入者は、加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。問国民健康保険課。

相談

面談は予約制。時月～金曜日。祝・休日、年末年始は除く。

健康相談　育児、健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。保健師などが電話や面接で相談に応じます。所保健センター、同センター南千里分館。問同センター。

こころの健康相談　統合失調症や気分障がい、アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症など。所保健所。問地域保健課。

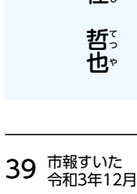
医療相談　医療機関に関する相談や苦情などに応じます。所保健医療室。問保健医療室。

くらしの情報

12月1日は世界エイズデー　HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染症は特別な病気ではありません。予防と早期発見が大切です。この機会にHIVやエイズについて考えてみませんか。保健所では、HIV・エイズに関する相談、匿名・無料の検査を実施しています。問地域保健課。

口腔（こうくう）ケアセンターの催し

障がい者（児）のお口のケアとリハビリテーション　歯科医師による口腔の健康度チェックと口腔ケア指導。時1月20日㈭午後1時30分～3時30分。対会場へ来所できる障がい者（児）。難病や脳梗塞後遺症がある人も可。定先着10人。申◆と年齢を12月1日㈬から電話かファックスで同センターへ。



ドクターメモ　新型コロナウイルス感染症とメンタルヘルス

新型コロナウイルス感染症は最初の感染者が確認されてからすでに1年以上経過していますが、いまだに収まっていません。新型コロナウイルス感染症は生命に関わる病気であるとともに、多くの人々のメンタルヘルスに深刻な影響を与えています。専門家の間では、経済的に困窮している人は性別や年齢を問わず精神的に追い詰められていると言われています。しかし、メンタルヘルスの観点から特に注意すべき人は、意外にも15～39歳の思春期、若年成人といわれています。

一般的に、新型コロナウイルス感染症に感染しても症状が軽いといわれている世代のため対策が軽視されがちですが、就学や就職といった課題を前に、不登校やインターネット依存、引きこもり、家族の経済的苦境のため就学を諦めるなどのケースが見られます。さらに女性の場合、結婚や出産の悩み、派遣切りといった経済的な問題、ステイホームによるDV被害や育児の悩みの深刻化などが要因として挙げられており、対策が急がれています。

このような状況に対して、4月からメンタルヘルス相談システム「KOKOROBO」の運用が始まりました。これは、自宅でメンタルチェックを無料で受けられる、国立精神・神経医療研究センターが始めたWebサイトです。市では無料相談などのオンラインサービスを受けることはできませんが、メンタルの不調を自覚している人で、心療内科や精神科の受診を悩んでいる人は一度利用してみてはいかがでしょうか。

吹田市医師会　富樫哲也